# -royal virtual construct-

ROYA

# マスターブック Master Book



Μ	laster	Boo
1.6	laster	000

# Master Book **DUIC 4.0.0**

はじめに	4
インストール	5
rovic 起動	7
用語説明	
平面図	
展開図	8
展開グループ	8
パーツパターン	9
展開詳細図	9
パーツリスト	9
コマンド	
平面図から展開図を作成する	
展開図1を作成	12
レイヤ「展開図1」を追加	
展開グループ「レディース1」を作成	14
外観を作成	16
サポート(シングルーシングル)を配置	17
パーツパターン「A」を作成	21
木棚(外々)を配置	23
パーツパターン「A」を確定	
バーツバターン   B」を作成	
バーツバターン   A 」を適用	
展開詳細図レイヤイ 移動	
半山凶レイ (バ) (や動)	
展開ブル ブ・レブイ へて」でTF/Q	
外観を作成	35
サポート(シングルーシングル)を配置…	
パーツパターン「C」を作成	
ハンガー(内々)を配置	41
パーツパターン「C」を確定	43
パーツパターン「C」を適用	44
展開図2を作成	
レイヤ「展開図2」を追加	
展開グループ「メンズ」を作成	
外観を作成	50
サポート(シングルーダブル)を配置	51
パーツパターン「D」を作成	53
ハンガー(内々)を配置	55
棚(内々)を配置	56
バーツバターン  D」を確定	

	パーツパターン「E」を作成	59
	パーツパターン「F」を作成	60
	パーツパターン「D」「E」を適用	61
	パーツパターン「D」を反転	63
展開図3な	を作成	65
	レイヤ「展開図3」を追加	
	展開グループ「FR」を作成	
	外観を作成	
	ロコポイントを配置	
	展開詳細図レイヤへ移動	71
平面図から	ら部品を集計する	72
	部品表を作成	
	パーツリストを生成	74
展開図のる	み作成する	75
	レイヤ「展開図4」を追加	75
	展開グループ「壁面外々展開」を作成	
	サポートを配置	
	パーツパターン「G」を作成	
	ハンガー(外々)を配置	
	棚(外々)を配置	
	パーツパターン「G」を確定	
	展開詳細図レイヤへ移動	85
展開図から	ら部品を集計する	86
	部品表を作成	
	パーツリストを生成	
作成した語	鄂品を変更する	
	サポートを一括変更	
	パーツパターンを変更	
	ハンガーを変更	
	棚を変更	
	ロコポイントを削除	94
	パーツパターンを削除	95
展開グル-	– プを活用する	96
	上面グループを配置	
	展開グループを編集	
	展開グループを複製	
	展開グループを削除	100
	展開グループを取り出す	101
	展開グループを取り込む	

Master Book

# はじめに

パーツを「描く」パーツを「集計する」を簡単に。 今までの図面作成上の面倒な描画とパーツ発注の際のわず らわしさを軽減し、作業時間を短縮出来る画期的なプラグインです。

rovic には次の機能があります。

- ・平面図から展開図を作成
- ・展開図から展開詳細図(三面図)を作成
- ・平面図、または展開図から部品集計
- ・パーツリストを作成

Master Book

# インストール

### Windows 版

1. rovic installer をダブルクリック

rovic installer が起動されます。



2. [次へ] をクリック

使用許諾画面が表示されます。



- 3. [同意する] をクリック
- 4. [選択 ...] をクリック

Vectorworks がインストールされているフォルダを選択してください。

例1) C: ¥ Program Files ¥ VectorWorks125J100

- 例2) C: ¥ Program Files ¥ VW12J100\_Net
- 5. [次へ] をクリック

インストールが開始されます。

これで、インストールが完了しました。

### Mac 版

1. rovic installer をダブルクリック

rovic installer が起動されます。

	CAD Plug-In&Data for Vectorworks
rovic 4.0.0 for V パーツを「描く」 ツ発注の際のわず	ctorWorks 12.5 へようこそ マーツを「集計する」を簡単に。 今までの図面作成上の面倒な撮画とパー らわしさを軽減し、作業時間を短縮出来る画期的なプラグインです。
終了	(次へ)

2. [次へ] をクリック

使用許諾画面が表示されます。

CAD PI	rovic インストーラ -royal virtual construct- DDGC
ソフトウェア使用許諾契約書 本使用許諾書の内容に同意いただけ で使用することができます。本製品 ます。 下記の条件に違反した場合は、使用	る場合に限り、「rovic」(以下「本製品」)を下記の条件 の使用を継続される場合は同意いただいたものとみなし 許諾は自動的に取り消されます。
1.本製品に含まれているソフトウェ 終了	アや文書などのすべての著作物の著作権は、株式会社ロ 「同意しない」 「同意する」

- 3. [同意する] をクリック
- 4. [選択…] をクリック

Vectorworks がインストールされているフォルダを選択してください。

- 例1) ¥ Applications ¥ VectorWorks125J100
- 例2) ¥ Applications ¥ VW12J100\_Net
- 5. [次へ] をクリック

インストールが開始されます。

これで、インストールが完了しました。

### Master Book

# rovic 起動

### Vectorworks 11.5

- 1. Vectorworks を起動
- 2.【ファイル】→【作業画面】→【rovic】を実行
- これで、rovic が起動できました。

### Vectorworks 12.5 以降

- 1. Vectorworks を起動
- 2.【ツール】→【作業画面】→【rovic】を実行
- これで、rovic が起動できました。

Master Book

# 用語説明

rovic を利用する上で、使用する用語を説明します。

# 平面図



フロア全体が確認できる図です。お客様にご用意していただくもの です。

### 展開図



間口や什器配置などがわかるように各壁面を示した図です。【展開図 レイヤ追加】メニューで展開図を描くレイヤを作成します。

展開グループ

展開グループ1
展開図 ——————

展開詳細図(三面図)を作成するための単位です。サポートとロコポ イントは展開グループに直接配置します。ハンガーと棚はパーツパ ターンで定義してから展開グループに配置します。



サポート間に配置するハンガーと棚をパターンとして定義します。 定義したパターンは別の場所でも使用できます。左図のような同じ パターンが連続する場合は、再利用が容易です。

# 展開詳細図



展開グループの三面図です。展開グループを作成すると、次の3つ の図が自動生成されます。

上面図(上面グループ)

展開グループを上から見た図です。

正面図

展開グループを正面から見た図です。

### 側面図

展開グループを側面から見た図です。

# パーツリスト

展開図で配置した部品を集計した一覧表です。

Master Book

コマンド

rovic には、次のコマンドが用意されています。

- ・[新規上面グループ] ツール
- ・[上面グループ配置] ツール
- ・「新規展開グループ」ツール
- ・[サポート] ツール
- ・[パーツパターン] ツール
- ・[ロコポイント] ツール
- ・[ハンガー] ツール
- ・[棚] ツール
- ・【展開図レイヤ追加】メニュー
- ・【展開グループ編集】メニュー
- ・【展開グループ複製】メニュー
- ・【展開グループ削除】メニュー
- ・【展開グループ取り出し】メニュー
- ・【展開グループ取り込み】メニュー
- ・【サポートー括変更】メニュー
- ・【ロコポイント削除】メニュー
- ・【パーツパターン削除】メニュー
- ・【ハンガー変更】メニュー
- ・【棚変更】メニュー
- ・【パーツパターン確定】メニュー
- ・【レイヤ切り替え】メニュー
- ・【部品表作成】メニュー
- ・【パーツリスト生成】メニュー

# 平面図から展開図を作成する



作成例として、この平面図から3つの展開図、3つの展開グループを作成します。 展開図1に、展開グループ「レディース1」と「レディース2」を作成します。 展開図2に、展開グループ「メンズ」を作成します。

展開図3に、展開グループ「FR」を作成します。

Master Book

# 展開図1を作成

次の展開図を作成します。



展開図には、複数の展開グループを作成することができます。

例1)ひとつの展開図レイヤにひとつの展開グループ



例2)ひとつの展開図レイヤに複数の展開グループ



ここでは、例2のような展開図を作成します。

# レイヤ「展開図1」を追加

展開図を作成するレイヤを追加します。

### 操作手順:

1. 【◆平面図◆】→【展開図レイヤ追加…】を実行

次のダイアログが表示されます。



- 2. [レイヤ名] を「展開図 1」に変更
- 3. [縮尺] を「50」に変更
- 4. [レイヤ移動]を「追加した展開図レイヤに切り替えない」に変更
- 5. [OK] をクリック
- これで、レイヤ「展開図1」が追加されました。

# 展開グループ「レディース1」を作成

平面図に棚やハンガーなどを配置する位置を指定します。指定が完了すると、展開図レイヤに移動します。

### 操作手順:

- 1. [新規上面グループ] ツールを選択
- 2. 始点をクリック

展開グループの始まる壁面をクリックしてください。



3. 終点をクリック

展開グループの終わる壁面をクリックしてください。



4. 向きをクリック

奥行きが出る向きをクリックしてください。



次のダイアログが表示されます。

新規上面グルーフ    展開グルーフキ(同し展開グルーフをは作 レディース1    作成済みの展開グルーフ名	成できません。) 5 高さ オフセットW オフセットH
展開寸法	Imp (A)    mn    手順6      3340.00    mn    手順7      3965    mn    手順7      展開図レイヤ    「原開図1 ▼ 編尺 1:20    手順8
	展開詳編図(三面図)レイヤ [[展開詳編図]]-(展開グルーフ名)

- 5. [展開グループ名] を「レディース1」に変更
- 6. [間口]を入力
  先ほど直線を引いた長さになります。問題なければ、そのままにしてください。
- 7. [高さ] を「3965」に変更
- 8. [展開図レイヤ]を先ほど追加した「[[展開図]]-展開図1」に変更
- 9. [縮尺] を「1:20」に変更
- 10. [OK] をクリック

これで、展開図レイヤに展開グループ「レディース1」が作成されました。



# 外観を作成

Vectorworks 標準ツールを使用して、展開図に躯体などを作成します。



# サポート(シングルーシングル)を配置

展開グループに、例2のサポートを配置します。



### 操作手順:

- 1. [サポート] ツールを選択
- 2. 展開グループ上のサポート原点をクリック

クリックした位置からサポートが配置されます。ここでは、展開グループ左下の基準点から X=124.5、Y=0 の 位置をクリックします。



次のダイアログが表示されます。

サポート		
サポート原点		
オフセットW(C)	サポート追加	手順3)
124.5 mm	スリット芯追加	手順5
0 mm	实更	JARO
##~- 5	育儿除	
ここからサポートの配置されます。		
オフセットH(D)		
7729FW(C)	- スリット8 - スリット8 - スリット8 - スリット8	
⇒		
サポート芯寸法	+ <del>.</del>	
●作成する ○作成しない		
全体を見る	<b>OK</b> キャンセル	

**3.** [サポート追加 ...] をクリック 次のダイアログが表示されます。

サポート追加	ロイヤルのサポート各種を選択します
種類 ASF-1	- 任意のサポート高さ (3000mm まで ) を入力します
カラー クローム	指定色以外に任意入力も可能です
F地 SST-2 V ビス BT-P • 25 V	選択したサポートに応じて切り替わります
ОК +17211	選択したサポート・下地に応じて切り替わります

一番左側のサポートを入力します。種類「ASF-1」、高さ「3000」、カラー「クローム」、下地「SST-2」、ビ ス「BT-P」、ビスサイズ「25」を入力します。

**4.** [OK] をクリック

図面にサポートが追加されます。

		N	
	サポート・スリット芯		
	ASF-1 3000mm クローム	サポート追加	
		スリット芯追加	
		変更	
t#=+			
14.9.		TA I	
	スリットさ スリットさ スリットさ (S-W) (W-W) (W-S)		
	- ( <u>9</u> #->2 - ( <u>9</u> #->2 - ( <u>9</u> #->2 -		
	OK	キャンセル	

5. [スリット芯追加 ...] をクリック

次のダイアログが表示されます。

芯々で	十法追加		
∂芯	i々寸法		
	1110	mm	
(	ОК		キャンセル

先ほど追加したサポートから次のサポートまでの距離を「1110」を入力します。

**6.** [OK] をクリック

図面にスリット芯が追加されます。

サポート・スリット芯	
AST-1 3000mm /Ω - Δ    (1110 mm)      1110 mm    (21/2+7/3/8/00)      20/2+7/3/8/00    (20/2+7/3/8/00)      20/2+7/3/8/00    (20/2+7/3/8/00)      1110 mm    (11/2+1/2)      1110 mm    (20/2+7/3/8/00)      20/2+7/3/8/00    (11/2+1/2)      1110 mm    (11/2+1/2)      11110 mm    (11/2+1/2)	
	1110

```
7.3から6を繰り返す
```

続けて、

サポート「ASF-1、3000」、

スリット芯「175」、

サポート「ASF-1、3000」、

スリット芯「510」、

サポート「ASF-1、3000」、

スリット芯「175」、

サポート「ASF-1、3000」、

スリット芯「1110」、

サポート「ASF-1、3000」

を追加します。

8. [サポート芯寸法] を「作成する」に変更

**9.** [OK] をクリック





### サポートまたはスリット芯を変更したい場合

ダイアログ表示中に変更したい場合は、サポートまたはスリット芯を選択し、[変更]をクリックしてください。 [OK]をクリックした後に変更したい場合は、再び[サポート]ツールでサポート原点をクリックしてください。 複数の展開グループのサポートを変更したい場合は、サポートー括変更の項目を参照してください。

# パーツパターン「A」を作成

パーツパターンを次のように左端のサポート間に作成します。



### 操作手順:

- 1. [パーツパターン] ツールを選択
- 左端のサポート間にマウスカーソルを移動 赤い矩形が表示されます。



**3.** クリック

次のダイアログが表示されます。

現在選択中のパーツ	パターン情報			新用ビカート
パターン名	サポート左(高さ)	柱芯々	サポート右(高さ)	#17見ハターノ
	ASF-1(3000)	1110	ASF-1 (3000)	
()	覧で 選択中のパーツパターン	が適用され	.ます。)	
パターン名	サポート左(高さ)	柱芯々	サポート右(高さ)	パターンを適用
				複製して反転
				パターン編集
				パターン複製
				_

4. [新規パターン…]をクリック

次のダイアログが表示されます。

新規パターン	
パターン名 Al	
ОК	キャンセル

- 5. [パターン名] を「A」に変更
- **6.** [OK] をクリック

パーツパターンレイヤが表示されます。



これで、パーツパターン「A」ができました。ここに棚を配置していきます。

### 注意:

パーツパターンを作成すると、サポートの変更ができません。

# 木棚(外々)を配置

木棚を次の高さに配置します。

1850mm

1500mm

1150mm

800mm

450mm

### 操作手順:

- 1. [棚] ツールを選択
- 2. 450mm の高さに直線を引く



次のダイアログが表示されます。



- 3. [棚板の種別] を「木棚」に変更
- 4. [W] を「1200」に変更
- 5. [奥行き] を「350」に変更
- 6. [棚名称] を「木棚」に変更
- 7. [棚厚] を「20」に変更
- 8. [ブラケット]を「R-033W」、「R-032W」に変更

9. [OK] をクリック

これで、棚が配置できました。つづけて、800mm、1150mm、1500mm、1850mmの高さに同じ棚を配置してください。



# パーツパターン「A」を確定

パーツパターンレイヤに配置した棚を展開図に適用します。

### 操作手順:

【◆パーツパターン◆】→【パーツパターン確定】を実行
 これで、展開図にパーツパターン「A」が適用されました。



### パーツパターンを再編集したい場合

パーツパターンを再編集したい場合は、[パーツパターン] ツールで、もう一度同じサポート間をクリックしてください。次のダイアログが表示されます。

パーツパターン		
現在選択中のパーツパターン情報 パターン名 サポート左(高さ) 柱芯々 サポート右(高さ) A ASF-1(3000) 1110 ASF-1(3000)	新規パターン	既に作成したパターンを他のスパンに適用する事ができます(スパンのパターンが
パーツパターン一覧(一覧で選択中のパーツパターンが適用されます。)		同一の場合のみ)
パターン名 サポート左(高さ) 柱芯々 サポート右(高さ)	パターンを適用 🥑	
	複製して反転	⑤ – ∞ のパターンを ∞ – ⑤ に適用する
	パターン編集	事ができます
	パターン複製	パターンを編集できます
	キャンセル	パターンを複製できます

[パターン編集 ...]をクリックしてください。これで、パーツパターンの編集ができます。

# パーツパターン「B」を作成

中央のサポート間にパーツパターンBを作成します。操作手順は、パーツパターンAを作成した手順と同じで す。

### 操作手順:

1. [パーツパターン] ツールを選択



「パターン名] 「B」のパーツパターンを中央のサポート間に作成します。

- 2. [棚] ツールを選択
  - [W]を「600」に変更し、パーツパターン「A」と同じ位置に同じ棚を配置します。
- 3. 【◆パーツパターン◆】→【パーツパターン確定】を実行

これで、パーツパターン「B」ができました。



27

# パーツパターン「A」を適用

左端と同じパーツパターンを右端のサポート間に適用します。

### 操作手順:

- 1. [パーツパターン] ツールを選択
- 右端のサポート間にマウスカーソルを移動 赤い矩形が表示されます。



**3.** クリック

次のダイアログが表示されます。

パーツパターン					
-現在選択中のパーツパターン パターン名	/情報 サポート左(高さ) ASF-1(3000)	柱芯々 1110	サポート右(高さ) ASF-1(3000)	新規パターン	
パーツパターン一覧(一覧で遠	【択中のパーツパター】	ンが適用され	ます。)		
パターン名	サポート左(高さ)	柱芯々	サポート右(高さ)	パターンを適用	手順5)
A	ASF-1 (3000)	510	ASF-1 (3000)	が御川て広志	
	Hot 1 (00007	010	( 手順4		
				パターン編集	
				パターン複製	
				キャンセル	

- **4.** [パーツパターン]「A」を選択
- 5. [パターンを適用] をクリック



これで、展開図にパーツパターン「A」が適用されました。

# 展開詳細図レイヤへ移動

パーツパターンを適用(またはパーツパターン確定)すると、バックグラウンドで自動的に展開詳細図(三面図) が作成されます。展開詳細図レイヤに移動して、展開詳細図を確認します。

### 操作手順:

1.【◆集計◆】→【レイヤ切り替え…】を実行

次のダイアログが表示されます。

_	14VX	V/1777	表示	Sig IC	<b>九</b> 表示
1	[[展開詳細図]]-レディース1		非表示	1:20	
2	[[展開図]]-展開図1	*	非表示	1:50	- 非表示
3	非難歩行距離		非表示	1:50	
4	寸法·名称		非表示	1:50	
5	天井設備		表示	1:50	クレイ表示
6	ペンダント照明		非表示	1:50	
7	天井ボーダー		非表示	1:50	
8	間接照明		非表示	1:50	▶ 用紙全体を見る
9	什器		非表示	1:50	
10	造作		表示	1:50	
11	FRステージ		非表示	1:50	
12			非表示	1:50	
13	床色		表示	1:50	
14	A工事壁面LGS色		非表示	1:50	
15	原図		表示	1:50	
16	<部品保存>		非表示	1:1	

- 2. [他のレイヤを] 「隠す」に変更
- 3. [レイヤ名]「[[展開詳細図]]-レディース1」をダブルクリック

これで、展開詳細図に移動されました。展開詳細図が配置されているか確認してください。



### 平面図レイヤへ移動

パーツパターンを適用(またはパーツパターン確定)すると、バックグラウンドで自動的に平面図に展開グループを上から見た上面図が作成されます。平面図レイヤに移動して、上面図を確認します。

### 操作手順:

1.【◆集計◆】→【レイヤ切り替え…】を実行

次のダイアログが表示されます。

	レイヤ名	アクティブ	表示	縮尺	表示
1	[[展開詳細図]]-レディース1	+	非表示	1:20	
2	[[展開図]]-展開図1		非表示	1:50	非表示
3	非難歩行距離		非表示	1:50	
4	寸法·名称		非表示	1:50	
5	天井設備		非表示	1:50	グレイ表示
6	ペンダント照明		非表示	1:50	
7	天井ボーダー		表示	1:50	
8	間接照明		非表示	1:50	▶ 用紙全体を見る
<u> </u>	什器		非表示	1:50	
10	這作		表示	1:50	「干順」」
11	PRAT-9		<u>अ</u> रगा	1:00	
12			表示	1:50	
13	は日		表示	1:50	
14	AL争望面LGS巴		表示	1:50	
15	原図		非表示	1:50	
ю	< 部面1来1子>		非表示	1:1	

2. [他のレイヤを]「表示」に変更

3. ここでは [レイヤ名] 「造作」 をダブルクリック

これで、平面図に移動されました。展開グループの上面が配置されているか確認してください。



# 展開グループ「レディース2」を作成

レディース1と同じ展開図にレディース2を作成します。

### 操作手順:

- 1. [新規上面グループ] ツールを選択
- 2. 始点をクリック

展開グループの始まる壁面をクリックしてください。



3. 終点をクリック

展開グループの終わる壁面をクリックしてください。



- 4. 向きをクリック
  - 上下、左右の奥行きが出る向きをクリックしてください。



次のダイアログが表示されます。

新規上面グループ 展開グループ名(同じ展開グループ名 レディース2	凸は作成できる	ません。)	百5			
作成済みの展開グループ名 レディース1	間口 3340.00	高さ 3965	スクセットW 124.5	オフセットH O		
展開寸法	間口	](A)		イルちょ		
	307 高さ 396	75 (B) 35	mm mm	于順( 手順7		
	展開 (B) [[厘	閉図レイヤ §開図]]−展開[	図1	🔽 縮尺 1	□ 50 手順	8
	展開	閉詳細図(三面  開詳細図]]-(	図)レイヤ 展開グループネ	3) 縮尺(	01:10 ⊙1:20	手順9
			ОК		キャンセル	

5. 展開グループ名を「レディース2」に変更

**6.**[間口]を入力

先ほど直線を引いた長さになります。問題なければ、そのままにしてください。

- 7. [高さ] を「3965」に変更
- 8. [展開図レイヤ]を「[[展開図]]-展開図1」に変更
- 9. [縮尺] を「1:20」に変更

**10.** [OK] をクリック

これで、展開図レイヤに展開グループ「レディース2」が作成されました。

### 注意:

[新規上面グループ] ツールで展開グループを複数作成すると、同じ位置に作成されます。展開グループを移動し、見やすくするには次のページの展開グループを移動の項目を参照してください。

### 展開グループを移動

展開グループを移動し、展開図を見やすくします。

### 操作手順:

- 1. [2D セレクションポインタ] ツールを選択
- 2. 展開グループ「レディース2」をドラッグ



3. 配置したい位置でドロップ

これで、展開グループを移動できました。



# 外観を作成

必要に応じて展開図に躯体などを作成します。rovic ではなく VectorWorks ツールで描きます。



# サポート(シングルーシングル)を配置

展開グループ「レディース2」にサポートを配置します。

### 操作手順:

- 1. [サポート] ツールを選択
- 2. 展開グループ上のサポート原点をクリック

クリックした位置からサポートが配置されます。ここでは、展開グループ左下の基準点から X=73、Y=0 の位置をクリックします。



 【サポート追加 …】をクリック 次のダイアログが表示されます。
サポート追加	0
種類	ASF-1
高さ	3000 mm
カラー	/ሀር-ሬ 💌
下地	SST-2
ビス	BT-P 💙 25 💙
	ОК ++>セル

一番左側のサポートを入力します。種類「ASF-1」、高さ「3000」、カラー「クローム」、下地「SST-2」、ビス「BT-P」、ビスサイズ「25」を入力します。

**4.** [OK] をクリック

図面にサポートが追加されます。

	•
5.	サポート・スリット芯
V(C)	ASF-1 3000mm クローム サポート追加
(D) mm	スリットで注意知
mm	<b>美更</b>
UR-F	AUBA
777-10-14(0)	
Fide I	- <u>XU955</u> - <u>XU955</u> - <u>XU955</u> (S-W) (W-W) (W-S)
	i ii ii ii
t法 エーの体理したい	- (7#-h3) - (7#-
5 OTEXCOLO	
10	OK キャンセル

5. [スリット芯追加 ...]をクリック

芯々寸法追加	
○芯々寸法	
860	mm
	キャンセル

先ほど追加したサポートから次のサポートまでの距離を入力します。ここでは、「860」を入力します。

6. [OK] をクリック

図面にスリット芯が追加されます。

-	##_1.70.1#			
(10) mm <u>75-1</u> 500 mm 115 30 Onstuccu	ASF-1 3000 m 70 - 1. 500 m 70 - 1.	ワオート追加。       23ワットで送加。       支更。       時時。       上へ       下へ		
13	OK	**>セル	860	

#### 7.3から6を繰り返す

続けて、

サポート「ASF-1、3000」、

スリット芯「175」、

サポート「ASF-1、3000」、

スリット芯「860」、

サポート「ASF-1、3000」、

スリット芯「175」、

サポート「ASF-1、3000」、

スリット芯「860」、

サポート「ASF-1、3000」

を追加します。

8. [サポート芯寸法] を「作成する」に変更

サポート		
サポート サポート原点 オフセットW(O) 73 mm オフセットH(D) 0 mm ・ サポートです法 ・ ・ で作成しない	サポート・スリット芯 ASF-1 3000mm クローム ASF-1 3000mm クローム 175 mm ASF-1 3000mm クローム 860 mm ASF-1 3000mm クローム 175 mm ASF-1 3000mm クローム 800 mm ASF-1 3000mm クローム 800 mm ASF-1 3000mm クローム 800 mm ASF-1 3000mm クローム 800 mm ASF-1 3000mm クローム 90 mm 10 mm	サポート追加         スリット芯追加         変更         剤助除         上へ         下へ
全体を見る	ОК	キャンセル

**9.** [OK] をクリック

これでサポートが配置されました。



## パーツパターン「C」を作成

パーツパターンを次のように作成します。



### 操作手順:

- 1. [パーツパターン] ツールを選択
- 2. 左端のサポート間にマウスカーソルを移動

赤い矩形が表示されます。



**3.** クリック

現在選択中のパーツ	パターン情報			新相パターン
パターン名	サポート左(高さ)	柱芯々	サポート右(高さ)	*******
	ASF-1 (3000)	910	ASF-1 (3000)	
くーツパターン一覧(-	→覧で選択中のパーツパター	ンが適用され	します。)	
パターン名	サポート左(高さ)	柱芯々	サポート右(高さ)	パターンを適用
A	ASF-1(3000)	1110	ASF-1 (3000)	
В	ASF-1 (3000)	510	ASF-1 (3000)	複製して反転
				パターン編集
				パターン複製

4. [新規パターン…]をクリック

次のダイアログが表示されます。

新規パターン	
パターン名 Cl	
ОК	キャンセル

- 5. [パターン名] を「C」に変更
- **6.** [OK] をクリック

パーツパターンレイヤが表示されます。



これで、パーツパターン「C」ができました。ここにハンガーを配置していきます。

展開方法、パイプ種類、加工、 経を選択すると、下のイラス

### ハンガー(内々)を配置

ハンガーを 1550mm の高さに配置します。

#### 操作手順:

- 1. [ハンガー] ツールを選択
- 2. 1550mmの高さに直線を引く



次のダイアログが表示されます。



41

- 3. [W] を「860」に変更
- 4. [ブラケットサイズ] を「300」に変更
- **5.** [ブラケット]を「A-288S」、「A-287S」に変更
- **6.** [OK] をクリック

これで、ハンガーが配置できました。



### パーツパターン「C」を確定

パーツパターンレイヤに配置したハンガーを展開図に適用します。

#### 操作手順:

1.【◆パーツパターン◆】→【パーツパターン確定】を実行

これで、展開図の左端のサポート間にパーツパターン「C」が適用されました。



### パーツパターン「C」を適用

パーツパターンCを中央と右端のサポート間に適用します。

### 操作手順:

- 1. [パーツパターン] ツールを選択
- 中央のサポート間にマウスカーソルを移動 赤い矩形が表示されます。



### **3.** クリック

現在選択中のパーツパターン情報         新規パターン:           パターン名         サポート左(高さ) 柱芯々         サポート右(高さ)           ASF-1(3000)         860         ASF-1(3000)	
パーツパターン一覧(一覧で選択中のパーツパターンが適用されます。)	
パターン名 サポート左(高さ) 柱芯々 サポート右(高さ) パターンを適用 手	順5)
A ASF-13000) 1110 ASF-13000) B ASF-13000 510 ASF-13000) 補製して反転	
パターン複製	
キャンセル	

- **4.** [パーツパターン]「C」を選択
- 5. [パターンを適用] をクリック



3075

これで、展開図の中央のサポート間にパーツパターン「C」が適用されました。

Master Book

# 展開図2を作成

次の展開図を作成します。



### レイヤ「展開図2」を追加

展開図を作成するレイヤを追加します。展開図1レイヤと同じ作り方で、展開図2レイヤを追加してください。

#### 操作手順:

1. 【◆平面図◆】→【展開図レイヤ追加…】を実行



- 2. [レイヤ名] を「展開図2」に変更
- 3. [縮尺] を「50」に変更
- 4. [レイヤ移動]を「追加した展開図レイヤに切り替えない」に変更
- 5. [OK] をクリック
- これで、レイヤ「展開図2」が追加されました。

### 展開グループ「メンズ」を作成

平面図に棚やハンガーなどを配置する位置を指定します。展開グループ「レディース1」、「レディース2」と 同じ作り方で、展開グループ「メンズ」を作成してください。

### 操作手順:

- 1. [新規正面グループ] ツールを選択
- 2. 始点をクリック

展開グループの始まる壁面をクリックしてください。



3. 終点をクリック

展開グループの終わる壁面をクリックしてください。



4. 向きをクリック

奥行きが出る向きをクリックしてください。



		、土川				
作成済みの展開グループ名	間口	高さ	オフセットW	オフセットH		
レディース1	3340.00	3965	124.5	0		
レティース2	3075	3965	73	U		
展開寸法						
4	間	](A)				
	86	35.00	m m	于順	6	
		. (12)				
		(B) eE	_ (	壬順	7	
	09	50	m m 🔍	」「只		
	展	間図レイヤ				
	53(B) [[[	・ 展開図11- 展開	國2	▼ 統尺 1		8
				1875	. 30	
	展開	閉詳細図(三面	i図)レイヤ			THE
	[[用	【開詳細図]]-	(展開グループネ	3) 縮尺(	)1:10 01:20	于順り
	1					
					التعليد ويتعل	

- 5. [展開グループ名] を「メンズ」に変更
- 6. [間口]を入力
   先ほど直線を引いた長さになります。問題なければそのままにしてください。
- 7. [高さ] を「3965」に変更
- 8. [展開図レイヤ]を先ほど追加した「[[展開図]]-展開図2」に変更
- 9. [縮尺] を「1:20」に変更
- **10.** [OK] をクリック

これで、展開図レイヤに展開グループ「メンズ」が作成されました。



# 外観を作成

必要に応じて躯体などを作成します。rovic ではなく、Vectorworks ツールで描きます。



## サポート(シングル-ダブル)を配置

展開グループに、例1のサポートを配置します。

例1 S	8	6	列 <b>2</b> ⑤	<b>S S</b>	88	8
			0 0 0			1 1 1 1

#### 操作手順:

- 1. [サポート] ツールを選択
- 2. 展開グループ上のサポート原点をクリック

クリックした位置からサポートが配置されます。ここでは、左下の基準点から X=187.5、Y=0 の位置をク リックします。



次のダイアログが表示されます。

サポート		
サポート原点	サポート・スリット芯	
オフセットW(C)	-	サポート追加
187.5 mm オフヤットH(D)		スリット芯追加
0 mm		変更
<u>サポート</u> ここからサポート が配置されます。		削除 上へ
オフセットW(0)	(3)         (3) <td><u>م</u></td>	<u>م</u>
サポート芯寸法 ○ 作成する ◎ 作成しない	<u> 74-12</u>	
全体を見る	ОК	**>tu

3. [サポート追加 ...] をクリック

一番左側のサポートを入力します。ここでは、種類「ASF-1」、高さ「3000」、カラー「クローム」、下地「SST-2」、 ビス「BT-P」、ビスサイズ「25」を入力します。

**4.** [OK] をクリック

図面にサポートが追加されます。

5. [スリット芯追加 ...]をクリック

先ほど追加したサポートから次のサポートまでの距離「1200」を入力します。

**6.** [OK] をクリック

図面にスリット芯が追加されます。

7.3から6を繰り返す

続けて、

サポート「AWF-5、3000」、

スリット芯「1200」、

```
サポート「AWF-5、3000」、
```

スリット芯「1200」、

```
サポート「AWF-5、3000」、
```

スリット芯「600」、

サポート「ASF-1、3000」、

スリット芯「1720」、

```
サポート「ASF-1、3000」、
```

スリット芯「1200」、

```
サポート「AWF-5、3000」、
```

スリット芯「1200」、

```
サポート「ASF-1、3000」
```

を追加します。

- 8. [サポート芯寸法] を「作成する」に変更
- 9. [OK] をクリック

これで、サポートが配置されました。



### パーツパターン「D」を作成

パーツパターン「D」を次のように作成します。



### 操作手順:

- 1. [パーツパターン] ツールを選択
- 左端のサポート間にマウスカーソルを移動 赤い矩形が表示されます。
- **3.** クリック

次のダイアログが表示されます。

パーツパターン				
現在選択中のパーツパターパター	ーン情報 サポート左(高さ) ASF-1(3000)	柱芯々 1205	サポート右(高さ) AWF-5(3000)	新規パターン
パーツパターン一覧(一覧で	:選択中のパーツパター:	ンが適用され	1ます。)	
パターン名	サポート左(高さ)	柱芯々	サポート右(高さ)	パターンを適用
A B C	ASF-1 (3000) ASF-1 (3000) ASF-1 (3000)	1110 510 860	ASF-1 (3000) ASF-1 (3000) ASF-1 (3000)	複製して反転
				パターン編集
				パターン複製
				キャンセル

4. [新規パターン…]をクリック

次のダイアログが表示されます。

新規パターン	
パターン名 D	
ОК	キャンセル

5. [パターン名] を「D」に変更

**6.** [OK] をクリック

パーツパターンレイヤが表示されます。



これで、パーツパターン「D」ができました。ここにハンガーと棚を配置していきます。

### ハンガー(内々)を配置

ハンガーを 1250mm の高さに配置します。

#### 操作手順:

- 1. [ハンガー] ツールを選択
- 2. 1250mmの高さに直線を引く

JV.	ンガー				- (		手順5	
	展開方法 0 外々 パイブ種類 0 角 加工 0 両ナッ 径 0 ¢19	<ul> <li>●内々 (ブ</li> <li>●丸</li> <li>&gt;トあり ○両:</li> <li>● φ 25 ●</li> </ul>	プラケットからパイ ナットなし (簡 ○ φ32	ブが外にでる 歩 易エンドキャップ	場合は外々) の場合はナッ	٢æ	サポート情報 ASF-1 - AWF-5 柱芯々 1205 mm	
	イメージ	品番	ブラケット左	ブラケット右	ノート	^	w 1205,手順3	)
	N	HB-25 RN	A-70S	A-70S	カパイプ		0 mm 1197 mm 0 mm	
		HB-25 RN	A-78S	A-78S	丸パイプ	Ξ	フラケットサイズ 250 • 手順 エンドキャップ MBA • カラー クローム •	4
		HB-25 RN	LS-01	LS-01	丸パイプ			
		HB-25 RN	LP-1	LP-1	丸パイプ	~	<ul> <li>OK キャンセル</li> </ul>	

- **3.** [W] を「1205」に変更
- 4. [ブラケットサイズ] を「250」に変更
- 5. 展開方法は「内々」、パイプ種類は「丸」、加工は「両ナットあり」、系は「Φ25」にし、[ブラケット] を 「HB-25 RN」、「A-785」に変更
- **6.** [OK] をクリック



これで、ハンガーが配置できました。

### 棚(内々)を配置

棚を1500mmの高さに配置します。

#### 操作手順:

- 1. [棚] ツールを選択
- 2. 1500mmの高さに直線を引く

ダージ	品畫	ブラケッ	ブラケッ	ノート		展開方法	サポート情報
No. of Concession, No. of Conces	ガラス棚	R-120G	R-120G	ガラス棚		○ 外々 ○ 内々 フラット ○ 内々 落とし込み	ASF-1 - AWF-5 柱芯々 1205 mm
			-( ]	-順8	)	- 棚板の種別	
	ガラス棚	R-121G	R-121G	ガラス棚		w 1205	
						棚切断寸法 0 0 mm 1205	mm 0 mm
					_	JPバー 2 ▼本	手順9
						ホルダー 先端 あり	✓ 中間 あり ✓
						奥行き 300 👻	〔手順5〕
						カラー クローム 棚名称 ガラス棚(他	₩ 手順6
						棚厚	手順7
						OK	الطرياط

- 3. [棚板の種別]を「ガラス棚」に変更
- 4. [W] を「1205」に変更
- 5. [奥行き] を「300」に変更
- 6. [棚名称] を「ガラス棚」に変更
- 7. [棚厚] を「8」に変更
- **8.** [ブラケット] を「R-120GHS」、「R-120GHS」に変更
- **9.** [JP バー] を「2 本」に変更
- 10. ホルダー [先端] を「あり」に変更
- 11. ホルダー [中間] を「あり」に変更
- **12.** [OK] をクリック



これで、棚が配置できました。

### パーツパターン「D」を確定

パーツパターンレイヤに配置した棚を展開図に適用します。

#### 操作手順:

1. 【◆パーツパターン◆】→【パーツパターン確定】を実行



これで、展開図にパーツパターン「D」が適用されました。

### パーツパターン「E」を作成

左から2番目のサポート間にパーツパターン「E」を作成します。操作手順は、パーツパターン「D」を作成した手順と同じです。

#### 操作手順:

1. [パーツパターン] ツールを選択



[パターン名]「E」のパーツパターンを左から2番目のサポート間に作成します。

2. ハンガー、棚を配置

[W]を「1209」に変更し、パーツパターン「D」と同じ位置に同じハンガー、棚を配置します。

3. 【◆パーツパターン◆】→【パーツパターン確定】を実行



これで、パーツパターン「E」ができました。

### パーツパターン「F」を作成

スリット芯が短いサポート間にパーツパターン「F」を作成します。操作手順は、パーツパターン「D」「E」 を作成した手順と同じです。

#### 操作手順:

1. [パーツパターン] ツールを選択

[パターン名]「F」のパーツパターンをスリット芯が短いサポート間に作成します。



#### **2.** 棚を配置

500mm、750mm、1000mm、1250mm、1500mmの高さに [W] を「605」に変更したパーツパターン「D」 「E」と同じ棚を配置します。

3. 【◆パーツパターン◆】→【パーツパターン確定】を実行



これで、パーツパターン「F」ができました。

## パーツパターン「D」「E」を適用

パーツパターン「D」「E」を次のように適用します。



### 操作手順:

- 1. [パーツパターン] ツールを選択
- 2. 左から3番目のサポート間をクリック

パーツパターン				
┌現在選択中のパーツパターン	情報			triple b. S.
パターン名	サポート左(高さ)	柱芯々	サポート右(高さ)	新規八ターフ
	AWF-5(3000)	1209	AWF-5(3000)	
	【択中のパーツパター)	ンが適用されま	च_)	
パターン名	サポート左(高さ)	柱芯々	サポート右(高さ)	パターンを適用
A	ASF-1(3000)	1110	ASF-1 (3000)	
C	ASF-1(3000)	860	ASF-1(3000)	複製して反戦
D	ASF-1 (3000)	1205	AWF-5(3000)	パターン編集
F	AWF-5(3000)	605	ASF-1 (3000)	
				パターン複製
				キャンセル

- 3. [パーツパターン]「E」を選択
- 4. [パターンを適用] をクリック



これで、展開図にパーツパターン「E」が適用されました。

### パーツパターン「D」を反転

パーツパターン「D」を反転して右端のサポート間に適用します。パーツパターンの反転は、サポートの組み 合わせがシングル - ダブルのパーツパターンをダブル - シングルの組み合わせに適用する場合に使用します。 (反転説明の図)

### 操作手順:

- 1. [パーツパターン] ツールを選択
- 2. 右端のサポート間をクリック



次のダイアログが表示されます。

ーツパターン				
┌現在選択中のパーツ	パターン情報			新担パターン
パターン名	サポート左(高さ)	柱芯々	サポート右(高さ)	#1190115 2
	AWF-5(3000)	1205	ASF-1 (3000)	
パーツパターン一覧(一	覧で選択中のパーツパター	ンが適用され	します。)	
パターン名	サポート左(高さ)	柱芯々	サポート右(高さ)	パターンを適用
A	ASF-1(3000)	1110	ASF-1 (3000)	
В	ASF-1(3000)	510	ASF-1 (3000)	複製して反転
С	ASF-1(3000)	860	ASF-1 (3000)	
D	ASF-1(3000)	1205	AWF-5(3000)	「ぜねこい/伊生
E	AWF-5(3000)	1209	AWF-5(3000)	
F	AWF-5(3000)	605	ASF-1(3000)	TALL S. ANY MIL
				バターン複製
				الطرديط
				キャンセル

- 3. [パーツパターン]「D」を選択
- 4. [複製して反転] をクリック

パーツパターンレイヤに切り替わります。

5.【◆パーツパターン◆】→【パーツパターン確定】を実行

これで、反転したパーツパターン「D」ができました。



Master Book

# 展開図3を作成

展開グループの好きな位置にロコポイントを配置します。



### レイヤ「展開図3」を追加

展開図を作成するレイヤを追加します。

#### 操作手順:

1. 【◆平面図◆】→【展開図レイヤ追加…】を実行



- 2. [レイヤ名] を「展開図3」に変更
- 3. [縮尺] を「50」に変更
- 4. [レイヤ移動]を「追加した展開図レイヤに切り替えない」に変更
- 5. [OK] をクリック
- これで、レイヤ「展開図3」が追加されました。

### 展開グループ「FR」を作成

平面図にロコポイントを配置する位置を指定します。指定が完了すると、展開図レイヤに移動します。

#### 操作手順:

- 1. [新規上面グループ] ツールを選択
- 2. 始点をクリック

展開グループの始まる壁面をクリックしてください。



3. 終点をクリック

展開グループの終わる壁面をクリックしてください。



4. 向きをクリック

奥行きが出る向きをクリックしてください。



作成済みの展開グループ名	間口	高さ	オフセットW	オフセットH	
レディース1	3340.00	3965	124.5	0	
レディース2	3075	3965	73	0	
メンズ	8635.00	3965	187.5	0	
	高さ(B) [[ 展	開図レイヤ 展開図]]-展 開詳細図(三	開図3 面図)レイヤ	▶ 縮尺 1	: 50

- 5. [展開グループ名]を「FR」に変更
- **6.**[間口]を入力

先ほど直線を引いた長さになります。問題なければ、そのままにしてください。

- 7. [高さ] を「3000」に変更
- 8. [展開図レイヤ]を先ほど追加した「[[展開図]]-展開図3」に変更
- 9. [縮尺] を「1:10」に変更
- 10. [OK] をクリック
- これで、展開図レイヤに展開グループ「FR」が作成されました。



# 外観を作成

必要に応じて展開図に躯体などを作成します。rovic ではなく Vectorworks ツールで描きます。



### ロコポイントを配置

展開グループにロコポイントを配置します。

#### 操作手順:

- 1. [ロコポイント] ツールを選択
- 2. 展開グループ上の配置する位置をクリック

クリックした位置にロコポイントが配置されます。ここでは、FR左下の基準点から X=675、Y=1400の 位置をクリックします。



次のダイアログが表示されます。

ロコポイント	
種類	LTR-22
サイズ	40 💌 m m
カラー	00-L 💌
	OK キャンセル

- **3.** [種類] を「LTR-22」に変更
- 4. [サイズ] を「40」に変更
- 5. [カラー] を「クローム」に変更
- 6. [OK] をクリック

これで、ロコポイントが配置されました。



### 展開詳細図レイヤへ移動

ロコポイントを配置すると、バックグラウンドで自動的に展開詳細図(三面図)が作成されます。展開詳細図 レイヤに移動して、展開詳細図を確認します。

#### 操作手順:

1.【◆集計◆】→【レイヤ切り替え…】を実行

次のダイアログが表示されます。

	レイヤ名	アクティブ	表示	縮尺	表示
1	[[展開詳細図]]-FR		非表示	1:10	
2	[[展開図]]-展開図3	+	非表示	1:50	非表示
3	[[展開詳細図]]-メンズ		非表示	1:20	
4	[[展開詳細図]]-レディース2		非表示	1:20	
õ	[[展開詳細図]]-レディース1		非表示	1:20	グレイ表示
ô	[[展開図]]-展開図2		非表示	1:50	
7	[[展開図]]-展開図1		非表示	1:50	
8	非難歩行距離		非表示	1:50	✓ 用紙全体を見る
э	寸法·名称		非表示	1:50	
10	天井設備		非表示	1:50	
11	ペンダント照明		非表示	1:50	
12	天井ボーダー		表示	1:50	
13	間接照明		非表示	1:50	
14	什器		非表示	1:50	
15	造作		表示	1:50	
16	FRステージ		表示	1:50	
17	É⊠		表示	1:50	
18	床色		表示	1:50	
19	A工事壁面LGS色		表示	1:50	
20	原図		非表示	1:50	
~ *	< 部島保存 >		非表示	1:1	

- 2. [他のレイヤを] 「隠す」に変更
- 3. [レイヤ名]「[[展開詳細図]]-FR」をダブルクリック

これで、展開詳細図に移動されました。展開詳細図が配置されているか確認してください。



#### 注意:

ロコポイントは側面図には配置されません。

Master Book

# 平面図から部品を集計する

### 部品表を作成

配置された部品を集計します。

#### 操作手順:

1.【◆集計◆】→【部品表作成 …】を実行

次のダイアログが表示されます。

部品表集計	-
天井高さ	3965 手順3
集計対象	◎ 平面図から部品を集計する 手順4 計する
部品集計	対象となるレイヤにチェックを入れてください。
	レイヤ名
	<部品保存>
Image: A start and a start	原図
	A工事壁面LGS色
	床色
Image: A start and a start	白図
	FRステージ
	造作
	什器
	間接照明
	天井ボーダー
	ペンダント照明
	天井設備
	寸法·名称
	非難歩行距離
	キャンセル 次へ

- 2. [天井高さ] を「3965」に変更
- 3. [集計対象] を「平面図から部品を集計する」に変更
- 4. [次へ] をクリック

FΦ		羊細 まとめ												
	No.	品番	サ	カラー	娄虹	×座標	Y座標	^	No.	品垂	サ	カラー	数量	
1	1	ASF-1	3000	クローム	1	-4169	3424		1	ガラス棚(他社)	1209		2	
1	2	SST-2	3965		1	-4169	3424		2	R-120GHS	300	クローム	20	
7	3	BT-P	25	カロール	15	-4169	3424		3	木棚	600		5	
1	4	ASE-1	2000		10	-2050	9494		4	ガラス棚(他社)	605		5	
1	4	MOT-1	3000	90-A		-3009	0424		5	木棚	1200		10	
1	5	551-2	3965		1	-3059	3424		5	カラス4冊(1包4主)	1205	hn. I	3	
1	6	BT-P	25	クローム	15	-3059	3424		1	ASE-I AWE-E	3000	クローム	10	
•	7	ASF-1	3000	クローム	1	-2884	3424		8	AWF-0 P_022W	250	クローム	4	
•	8	SST-2	3965		1	-2884	3424		10	R-032W	350	20 A	15	
•	9	BT-P	25	クローム	15	-2884	3424		11	A-78S	250	クローム	10	
1	10	ASE-1	3000	カローム	1	-2374	3424		12	A-287S	300	クローム	3	
	11	SST-2	3965	70 L	1	-2374	3424		13	A-288S	300	クローム	3	
1	10	001 2 DT D	3903	4n. I	16	2074	0424		14	HB-25 RN	1197	クローム	5	
	12	B1-F	20	90-A	10	-2374	3424		15	SB-24 Z	854	クローム	3	
•	13	ASE-1	3000	20-L	1	-2199	3424		16	JPB-9 R1	596	クローム	10	
•	14	SST-2	3965		1	-2199	3424		17	JPB-9 R1	1196	クローム	10	
/	15	BT-P	25	クローム	15	-2199	3424		18	M8A		クローム	10	
•	16	ASF-1	3000	クローム	1	-1089	3424		19	SST-2	3965		20	
7	17	SST-2	3965		1	-1089	3424		20	BT-P	25	20-4	6	
	18	BT-P	25	カローム	15	-1089	3424		21	MO D	2025	00-A	15	4
	10	+ 188	600	70 u	10	0600	0000	~	22	MO-K	2030	品工	旧百 弓	
2	18	BT-P -±-#RR	25	クローム	15	-1089	3424 2200	~	22	MO-R MO-I M84 (± 1)	2035 2025 )個単位	加 手	順5	
5. [書き出し] をクリック

集計された部品がテキストファイルに書き出されます。ファイル名を指定して[保存]をクリックしてく ださい。

6. [閉じる] をクリック

これで、部品表が作成できました。

### パーツリストを生成

部品表からパーツリストを生成します。

#### 操作手順:

#### 1. 【◆集計◆】→【パーツリスト生成…】を実行

これで、パーツリストが生成されました。



#### 注意:

【部品表作成】メニューを実行していないと、パーツリストが生成できません。

# 展開図のみ作成する

平面図を作らずに展開図を作成する手順は次のとおりです。

# レイヤ「展開図4」を追加

展開図を作成するレイヤを追加します。

### 操作手順:

 【◆平面図◆】→【展開図レイヤ追加…】を実行 次のダイアログが表示されます。

> 展開図レイヤ 追加 レイヤ名: [[展開図] 展開図4 手順2 縮尺: 1: 50 ▼ 手順3 レイヤ移動: ● 追加 にを展開図レイヤに 切り替える( ○ 追加 にを展開図レイヤに 切り替えな() のK キャンセル

- 2. [レイヤ名] を「展開図4」に変更
- 3. [縮尺] を「50」に変更
- 4. [レイヤ移動]を「追加した展開図レイヤに切り替える」に変更
- 5. [OK] をクリック

これで、レイヤ「展開図4」が追加され、レイヤ「展開図4」に切り替わりました。

# 展開グループ「壁面外々展開」を作成

サポート、ハンガー、棚などを配置する展開グループを作成します。

#### 操作手順:

- 1. [新規展開グループ] ツールを選択
- 2. 始点をクリック

展開グループを矩形で指定してください。

3. 終点をクリック

次のダイアログが表示されます。

行規展開グループ						
展開グループ名(同じ展開グルー) 壁面外々展開	2名は作成でき		頁4			
作成済みの展開グループ名	間口	高さ	オフセットW	オフセットH	·	
レディース1	3340.00	3965	124.5	0		
レディース2	3075	3965	73	0		
メンズ	8635.00	3965	187.5	0	~	
CD	1950	2000	0	0		2
	- 30 第さ(B) [[[]	<u>*(D)</u> 100 開図レイヤ 展開図]]-展開	m,	手順6 一 <sub>縮尺</sub> ·	: 50	
(Å) <b>D</b> [8]	展 [[[]	開詳細図(三面 展開詳細図]]-	回)レイヤ (展開グループネ	3) 縮尺(	01:10 01:20	手順7
			ОК		キャンセル	

4. [展開グループ名] を「壁面外々展開」に変更

[間口]を「1200」に変更
 先ほど指定した矩形の幅になります。

- [高さ]を「3000」に変更
   先ほど指定した矩形の高さになります。
- 7. [縮尺] を「1:20」に変更
- 8. [OK] をクリック

これで、展開図レイヤに展開グループ「壁面外々展開」が作成されました。



### サポートを配置

展開グループにサポートを配置します。

#### 操作手順:

- 1. [サポート] ツールを選択
- 2. 展開グループ上のサポート原点をクリック

クリックした位置からサポートが配置されます。ここでは、壁面外々展開左下の基準点から X=150、Y=0 の位置をクリックします。



次のダイアログが表示されます。

サポート原点 オフセットWC) 150 mm オフセットH(D) 0 mm	サポート・スリット芯     サポート・追加       スリット芯追加     スリット芯追加       変更     変更
サポート花寸法	
<ul> <li>         作成する         ・         ・         ・</li></ul>	ок <i>‡</i> «>/±/

**3.** [サポート追加 ...] をクリック

次のダイアログが表示されます。

サポート追加	U	
種類	ASF-1	*
高さ	1820 mm	
カラー	クローム	~
下地	SST-2	~
ビス	BT-P 🔽 25	~
	OK キャンセル	

一番左側のサポートを入力します。ここでは、種類「ASF-1」、高さ「1820」、カラー「クローム」、下地「SST-2」、 ビス「BT-P」、ビスサイズ「25」を入力します。

**4.** [OK] をクリック

図面にサポートが追加されます。

5. [スリット芯追加 ...] をクリック

次のダイアログが表示されます。

芯々寸法追加	
○芯々寸法	
900	mm
ОК	キャンセル

先ほど追加したサポートから次のサポートまでの距離を入力します。ここでは、「900」を入力します。

**6.** [OK] をクリック

図面にスリット芯が追加されます。

- 7. [スリット芯寸法] を「作成する」に変更
- **8.** [OK] をクリック
- これで、サポートが配置されました。

壁面外々展開



# パーツパターン「G」を作成

パーツパターンを次のように作成します。



### 操作手順:

- 1. [パーツパターン] ツールを選択
- 2. サポート間にマウスカーソルを移動

赤い矩形が表示されます。

壁面外々展開



**3.** クリック

次のダイアログが表示されます。

現在選択中のパーツ	パターン情報			新想パターン
パターン名	サポート左(高さ)	柱芯々	サポート右(高さ)	#1130/15/ 5
	ASF-1(1820)	900	ASF-1(1820)	
ペーツパターン一覧(-	→覧で選択中のパーツパター:	ンが適用され	ます。〉	
パターン名	サポート左(高さ)	柱芯々	サポート右(高さ)	パターンを適用
A	ASF-1(3000)	1110	ASF-1(3000)	
В	ASF-1(3000)	510	ASF-1(3000)	複製して反転
C	ASF-1(3000)	860	ASF-1(3000)	
D	ASF-1 (3000)	1205	AWF-5(3000)	しいたいに行作
E	AWF-5(3000)	1209	AWF-5(3000)	ハタニノ偏未…
F	AWF-5(3000)	605	ASF-1 (3000)	
Dの反転	AWF-5(3000)	1205	ASF-1 (3000)	パターン複製

4. [新規パターン…]をクリック

新規パターン	
パターン名 G	
ОК	キャンセル

次のダイアログが表示されます。

- 5. [パターン名]を「G」に変更
- **6.** [OK] をクリック



パーツパターンレイヤが表示されます。

これでパーツパターン「G」ができました。

# ハンガー(外々)を配置

ハンガーを次の高さに配置します。

1200mm

#### 操作手順:

- 1. [ハンガー] ツールを選択
- 2. 1200mmの高さに直線を引く

次のダイアログが表示されます。

レガー					
展開方法 ④外々 パイブ種類 ○角 加工 ○両ナッ 径 ○¢19	○内々(ブ ●丸 小あり ●両 ● ¢25 (	<sup>(</sup> ラケットからパイ +ットなし (簡 ○ ¢ 32	ブが外にでる 歩 易エンドキャップ	合は外々)	サポート情報 ASF-1 - ASF-1 必要なし) 柱芯々 900 mm
イメージ	品番	ブラケット左	ブラケット右	ノート	W 1000 mm 于/I貝 5
	HB-25	A-171	A-171	丸パイプ	74770001322 -0 mm 50 mm 994 mm 50 mm
1	HB-25	BU-079S	BU-079S	丸パイプ	フラケットサイズ 250 V 手順4 エンドキャップ HES V カラー クローム V
	НВ-25	A-79S	A-79S	丸パイプ	
					OK         キャンセル

- **3.** [W] を「1000」に変更
- 4. [ブラケットサイズ] を「250」に変更
- 5. 展開方法は「外々」、パイプ種類は「丸」、加工は「両ナットなし」、系は「Φ25」にし、[ブラケット] を 「HB-25]、「A-79S」に変更
- **6.** [OK] をクリック



これで、ハンガーが配置できました。

# 棚(外々)を配置

棚を1400mmの高さに配置します。

#### 操作手順:

- 1. [棚] ツールを選択
- 2. 1400mmの高さに直線を引く

イメージ	品畫	ブラケッ	ブラケッ	ノート	展開方法
	ガラス棚	R-110GS	R-110GS	ガラス棚 🧲	◎外々 手順8 <sup>b</sup> 32236 ASF-1 - ASF-1 柱芯々 900 mm
	ガラス棚	R-111GS	R-111GS	ガラス棚	
	ガラス棚	R-200GS	R-200GS	ガラス棚	欄切断寸法 0 mm 50 mm 1000 mm 50 mm
	ガラス棚	R-201GS	R-201GS	ガラス棚	2 ▼本 896 于順9 ホルダー 先端 なし ▼ 中間 なし ▼
					與行き 300 ▼ 手順5 カラー クローム 響名称 ガラス欄 手順6
					■■■ B ■ ● 手順7 ■ OK ■ 年*>セル

次のダイアログが表示されます。

- 3. [棚板の種別]を「ガラス棚」に変更
- 4. [W] を「1000」に変更
- 5. [奥行き] を「300」に変更
- 6. [棚名称] を「ガラス棚」に変更
- 7. [棚厚] を「8」に変更
- 8. [ブラケット] を「R-110GS」「R-110GS」に変更
- **9.** [JP バー] を「2本」に変更
- 10. [OK] をクリック



これで、棚が配置できました。

# パーツパターン「G」を確定

パーツパターンレイヤに配置した棚を展開図に適用します。

#### 操作手順:

1.【◆パーツパターン◆】→【パーツパターン確定】を実行

壁面外々展開



これで、展開図にパーツパターン「G」が適用されました。

### 展開詳細図レイヤへ移動

パーツパターンを適用(またはパーツパターン確定)すると、バックグラウンドで自動的に展開詳細図(三面図) が作成されます。展開詳細図レイヤに移動して、展開詳細図を確認します。

### 操作手順:

1.【◆集計◆】→【レイヤ切り替え…】を実行

					96.774
[[展開詳細図]]- 壁面外々展開		非表示	1:20		
[[展開詳細図]]-FR		非表示	1:10		非表示
[[展開詳細図]]-メンズ		非表示	1:20		
[[展開詳細図]]-レディース2		非表示	1:20		
[[展開詳細図]]-レディース1		非表示	1:20		グレイ表示
[[展開図]]-展開図4	+	非表示	1:50		
[[展開図]]-展開図3		非表示	1:50		
[[展開図]]-展開図2		非表示	1:50		☑用紙全体を見る
[[展開図]]-展開図1		非表示	1:50		
非難歩行距離		非表示	1:50		
寸法·名称		非表示	1:50		
天井設備		非表示	1:50		
ペンダント照明		非表示	1:50		
天井ボーダー		表示	1:50		
間接照明		非表示	1:50		
什器		非表示	1:50		
造作		表示	1:50		
FRステージ		表示	1:50		
白図		表示	1:50		
床色		表示	1:50		
▲工本辞売  ○○会		東テ	1.50	~	
	(I.展開詳細図))-FR (I.展開詳細図))-レディース2 (I.展開詳細図))-レディース1 (I.展開図)-展開図3 (I.展開図)-展開図3 (I.展開図)-展開図1 非難步行距離 寸法:名称 天井設備 ペンジント限明 天井ポーダー 間接照明 (1器 居規照明 (1器 た) た) た) た) (1 に た) (1 に た) (1) (1 た) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1	[[展開詳細図]]-FR [[展開詳細図]]-レディース2 [[展開詳細図]]-レディース2 [[展開]]-展開図1- ([展開図]-展開図3 [[展開図]-展開図3 [[展開図]-展開図3 [[展開図]-展開図1 非難步行距離 寸法:名称 天井設備 ペンタント限明 天井ボーダー 間接照明 [ 付器 [指展] 行為 にたり にたり にたり にたり にたり にたり にたり にたり にたり にたり	[[展開]詳細図]]-FR         非表示           [[展開]詳細図]]-レディース2         非表示           [[限開]詳細図]]-レディース2         非表示           [[限開]詳細図]]-レディース1         非表示           [[限開]詳細図]]-レディース1         非表示           [[限開]詳細図]]-レディース1         非表示           [[限開][3]-展開]23         非表示           [[[限開][3]]-展開]23         非表示           [[[限開][3]]-展開]21         非表示           打整:5个電頻         非表示           寸法:4約         非表示           丁法:4約         非表示           天井設備         非表示           「後間         非表示           「指腸         非表示           「福期         非表示           「福間         非表示           「日日         表示           「日本         表示	[[展開詳細図]]-FR 非表示 1.10 [[展開詳細図]-シスプ 非表示 1.20 [[展開詳細図]-シティース2 非表示 1.20 [[展開]詳細図]-シティース2 非表示 1.20 [[展開]詳細図]-シティース1 非表示 1.50 [[展開]図]-展開図4 + 非表示 1.50 [[展開]図]-展開図4 + 非表示 1.50 [[展開]図]-展開図1 非表示 1.50 [[展開]図]-展開図1 非表示 1.50 寸法・名称 非表示 1.50 寸法・名称 非表示 1.50 マメンタント限明 非表示 1.50 マメンタント限明 非表示 1.50 行器 非表示 1.50 行器 非表示 1.50 行器 非表示 1.50	[[展開詳細図]]-FR 非表示 1:10 [[展開詳細図]]-レディス2 非表示 1:20 [[展開詳細図]]-レディ-ス2 非表示 1:20 [[展開]]-展開図4 + 非表示 1:20 [[展開]]-展開図3 非表示 1:50 [[展開図]-展開図4 + 非表示 1:50 [[展開図]-展開図2 非表示 1:50 [[展開図]-展開図1 非表示 1:50 寸法:名称 非表示 1:50 天井設備 非表示 1:50 天井設備 非表示 1:50 「表示 1:50 [指展明 ]]-展開図 非表示 1:50 「表示 1:50 [150 [150 [150 [150 [150 [150] [150 [150]

次のダイアログが表示されます。

- 2. [他のレイヤを]「隠す」に変更
- 3. [レイヤ名]「[[展開詳細図]]-壁面外々展開」をダブルクリック



これで、展開詳細図に移動されました。展開詳細図が配置されているか確認してください。

Master Book

# 展開図から部品を集計する

# 部品表を作成

配置された部品を集計します。

### 操作手順:

1.【◆集計◆】→【部品表作成 …】を実行

品表集計	ł				
天井高さ	3965	<u>mm</u> (手川	頁2)		
集計対象	₹○平面図から部品を	集計する 💿 展開[	図から部品を集計	する手	順.
部品集計	対象となるレイヤにチェッ	りを入れてください。			
	レイヤ名				
	[[展開図]]-展開図2				
	[[展開図]]-展開図3	(手順・	4)		
<b>V</b>	[[展開図]]-展開図4				
		キャンセル		次へ	

次のダイアログが表示されます。

- 2. [天井の高さ] を「3000」に変更
- 3. [集計対象] を「展開図から部品を集計する」に変更
- 部品集計対象となるレイヤにチェック
   ここでは、「[[展開図]]-展開図4」のみにチェックを入れる。
- 5. [次へ] をクリック

	No.	品番	サ	カラー	数	×座標	Y座標	No	品番	÷	カラー	数量
~	1	ASF-1	1820	クローム	1	-4770	-2730	1	ガラス棚	1000		1
~	2	SST-2	3965		1	-4770	-2730	2	R-110GS	300	クローム	2
	3	BT-P	25	クローム	11	-4770	-2730	3	ASF-1	1820	クローム	2
	4	ASF-1	1820	クローム	1	-3870	-2730	4	HR-25	250	クローム	1
	5	SST-2	3965		1	-3870	-2730	6	JPB-9 R1	896	クローム	2
	6	BT-P	25	クローム	11	-3870	-2730	7	HES	25	シューン	2
	7	HB-25	994	クローム	1	-4320	-2470	8	SST-2	3965		2
	8	A-79S	250	クローム	1	-4320	-2470	9	BT-P	25	クローム	1
	9	A-79S	250	クローム	1	-4320	-2470	10	NGO		90-A	2
	10	HES	25	クローム	2	-4320	-2470	-				
	11	ガラス棚	1000		1	-4320	-2241					
	12	B-110GS	300	クローム	1	-4320	-2241					
	13	B-110GS	300	クローム	1	-4320	-2241	-				
	14	JPB-9 R1	896	クローム	2	-4320	-2241	-				
	15	NGO		クローム	1	-4320	-2241					
	16	NGO		クローム	1	-4320	-2241	-				
				10 24				-				
								-				

次のダイアログが表示されます。

6. [書き出し] をクリック

集計された部品がテキストファイルに書き出されます。ファイル名を指定して[保存]をクリックしてく ださい。

7. [閉じる] をクリック

これで、部品表が作成できました。

## パーツリストを生成

部品表からパーツリストを生成します。

#### 操作手順:

### 1. 【◆集計◆】→【パーツリスト生成…】を実行

これで、パーツリストが生成されました。



### 注意:

【部品表作成】メニューを実行していないと、パーツリストが生成できません。

Master Book

# 作成した部品を変更する

次のコマンドが用意されています。

- ・サポートー括変更
- ・パーツパターン変更
- ・ハンガー変更
- ・棚変更

### サポートを一括変更

展開グループに配置されているサポートを一括で変更します。

#### 操作手順:

- **1.** [2D セレクションポインタ] ツールを選択
- 2. サポートを変更する展開グループをひとつまたは複数選択
- 3.【◆展開図◆】→【サポートー括変更…】を実行

次のダイアログが表示されます。

ボートー	·括変更						
サポート	一覧(変更対象) 展開グループ名	Dサポートにチェック サポート種類	をつけてくだき 高さ	い。) カラー		変更	手順5
🔲 I	レディース1	ASF-1	3000 m m	クローム	L		
🔲 I	レディース1	ASF-1	3000 m m	クローム		すべて選択	
🔲 I	レディース1	ASF-1	3000 m m	クローム			
🔲 I	レディース1	ASF-1	3000 m m	クローム		すべて選択解除	
🔲 I	レディース1	ASF-1	3000 m m	クローム			
🔲 I	レディース1	ASF-1	3000 m m	クローム			
🗆 I	レディース2	ASF-1	3000 m m	クローム			
🗌 I	レディース2	ASF-1	3000 m m	クローム			
1	レディース2	ASF-1	3000 m m	クローム			
1	レディース2	ASF-1	3000 m m	クローム			
1	レディース2	ASF-1	3000 m m	クローム			
1	レディース2	ASF-1	3000 m m	クローム			
11日	4					閉じる	

- 4. 変更する [サポート] にチェック
- 5. [変更] をクリック

次のダイアログが表示されます。



- **6.** 値を変更
- 7. [OK] をクリック
- 8. [閉じる] をクリック

これで、サポートの一括変更ができました。

#### 注意:

パーツパターンが適用されている場合は、サポートを変更することができません。

### パーツパターンを変更

パーツパターンの内容を変更します。

#### 操作手順:

- 1. 展開図レイヤへ移動
- 2. [パーツパターン] ツールを選択
- 3. 変更するパーツパターン(サポート間)をクリック

次のダイアログが表示されます。

パーツパターン					
現在選択中のパーツパター パターン名	ン情報 サポート左(高さ)	柱芯々	サポート右(高さ)	新規パターン	
ドローンパターン一覧(一覧で)	ASF-130007 選択中のパーツパター サポートた(高さ)	ンが適用され	ASF-13000) れます。) サポート右(高さ)	パターンを適用	壬順4
A B C	ASF-1 (3000) ASF-1 (3000) ASF-1 (3000) ASF-1 (3000)	1110 510 860 1205	ASF-1(3000) ASF-1(3000) ASF-1(3000) ASF-1(3000)	複製して反転	
E F Dの反転	AWF-5(3000) AWF-5(3000) AWF-5(3000) AWF-5(3000)	1200 1209 605 1205	AWF-5(3000) AWF-5(3000) ASF-1(3000) ASF-1(3000)	パターン編集	
3	101 1020		101 110207	キャンセル	

4. [パターン編集 ...]をクリック

パーツパターンレイヤへ移動されます。

5. 編集

ハンガー 【◆パーツパターン◆】→【ハンガー変更…】で変更できます。

棚 【◆パーツパターン◆】→【棚変更…】で変更できます。

6. 【◆パーツパターン◆】→【パーツパターン確定…】を実行

これで、適用されているすべてのパーツパターンが変更できました。

# ハンガーを変更

パーツパターンに配置されているハンガーを変更します。

### 操作手順:

- **1.** [2D セレクションポインタ] ツールを選択
- 2. ハンガーを選択
- 3. 【◆パーツパターン◆】→【ハンガー変更…】を実行

次のダイアログが表示されます。

<u>ハンガー変更</u> 展開方法 ○ 外々 パイプ種類 ④ 角 加工 ◎ Z加ご	<ul> <li>⊙内々 (5</li> <li>○九</li> <li>Iあり ○2カ</li> </ul>	<b>ブラケットからパイ</b> ロエなし 〜	′プが外にでるぉ	易合は外々)	<del>サポート情報</del> ASF-1 - ASF-1 柱芯々 860mm
1注 ⊙14×2 1メージ	4 014×32 品番 SB-24 Z	 ブラケット左 A-288S	ブラケット右 A-287S	ノート 角パイプ	W 860 mm 手順4 パイプ切断寸法 -6 mm 0 mm 854 mm 0 mm
	SB-24 Z	A-283	A-282	角パイプ	ブラケットサイズ 300 エンドキャップ カラー クローム
					OK キャンセル

- 4. 変更後のハンガーの値を入力
- **5.** [OK] をクリック

これで、ハンガーの変更ができました。

### 棚を変更

パーツパターンに配置されている棚を変更します。

### 操作手順:

- **1.** [2D セレクションポインタ] ツールを選択
- **2.**棚を選択
- 【◆パーツパターン◆】→【棚変更…】を実行 次のダイアログが表示されます。

変更					
13-5	品番	<u>ブラケット左</u> R-033W	<u>ブラケット右</u> R-032W	ノート	<ul> <li>展開方法</li> <li>・ 外々</li> <li>・ 内々 フラット</li> <li>・ 内々 落とし込み</li> <li>・ 内々 落とし込み</li> </ul>
	木棚	B-033	B-032	木棚	<sup>欄板の種別</sup> ○ガラス欄 ◎木欄 W 1200 mn 手順4
	木棚	A-33	A-32	木棚	欄切断寸法 0 mm 45 mm 1200 mm 45 mm JPパー
~	◎木棚	R-133W	R-132W	木棚	0 ▼本 mm ホルダー 先端 なし ▼ 中間 なし ▼
1	。 木棚	A-15S	A-15S	木棚	奥行き 350 V カラー クローム V 棚名称 木棚
					108/年 200 mm     108/年 200 mm     108/年 200 mm     108/年 200 mm

- 4. 変更後の棚の値を入力
- **5.** [OK] をクリック

これで、棚の変更ができました。

# ロコポイントを削除

展開グループに配置されているロコポイントをすべて削除します。

#### 操作手順:

- **1.** [2D セレクションポインタ] ツールを選択
- 2. 削除するロコポイントがある展開グループを選択
- 【◆展開図◆】→【ロコポイント削除…】を実行 次のメッセージが表示されます。



**4.** [はい] をクリック

これで、展開グループ内のすべてのロコポイントの削除ができました。

### パーツパターンを削除

展開グループで指定されているパーツパターンを削除します。

#### 操作手順:

1.【◆展開図◆】→【パーツパターン削除…】を実行

次のダイアログが表示されます。

パーツパターン削除	
11月-11夕	
A	
c	
ОК	キャンセル

- 2. 削除する [パーツパターン] を選択
- **3.** [OK] をクリック

次のメッセージが表示されます。

rovic	X
2	パターン名「A」を削除します。よろしいですか?
	(北い公) いいえ(N)

**3.** [はい] をクリック

これで、パーツパターンを削除できました。

Master Book

# 展開グループを活用する

# 上面グループを配置

作成済みの上面グループ(展開グループを上から見た図)を平面図に配置します。

#### 操作手順:

- 1. 平面図レイヤに切り替える
- 2. [上面グループ配置] ツールを選択

次のダイアログが表示されます。

上面グループ配置		
作成済みの上面グループ		
展開グループ名	間口	高さ
レディース1	3340	3965
レディース2	3075	3965
メンズ	8635	3965
FR	1350	3000
望面外々展開	1200	3000
☆基点		
	1.1	0
	ш	_
		_
0		- 0
	_	
ОК	+	ヤンセル

- 3. 配置する上面グループを選択
- 4. 基点を選択

図面をクリックした時の基点となります。

- **5.** [OK] をクリック
- 6. 配置する位置をクリック
- 7. 角度を決めてクリック
- これで、上面グループの配置ができました。



97

### 展開グループを編集

展開グループを編集します。パーツパターンが適用されている場合は、一部の値が編集できません。

#### 操作手順:

- **1.** [2D セレクションポインタ] ツールを選択
- 2. 編集する展開グループを選択
- 3.【◆展開図◆】→【展開グループ編集…】を実行

次のダイアログが表示されます。

メンズ 863 ED 19F	35.00 3965	1	0	<u> </u>	
		0	87.5	0	~
(B) (C)		間口(A) 高さ(B)	3340.00 3965	mm mm	1
(D)	オフセ オフ・	2ット₩(C) セットH(D)	124.5 0	mm	1

- 4. 値を変更
- **5.** [OK] をクリック

これで、展開グループの編集ができました。

#### 注意:

パーツパターンが適用されている場合は、[間口]、[高さ]、[オフセットw]、[オフセットH] の値が編集できません。

### 展開グループを複製

展開グループを複製します。

### 操作手順:

- **1.** [2D セレクションポインタ] ツールを選択
- 2. 複製する展開グループを選択
- 3.【◆展開図◆】→【展開グループ複製…】を実行

次のダイアログが表示されます。

ノディース1のコピー			同じ展開グループ	名は作成できま	:tk
作成済みの展開グループ名	間口	高さ	オフセットW	オフセットH	
レディース1	3340.00	3965	124.5	0	
レディース2	3075	3965	73	0	
メンズ	8635.00	3965	187.5	0	
FR	1350	3000	0	0	
壁面外々展開	1200	3000	150	0	

- 4. [展開グループ名] を入力
- **5.** [OK] をクリック
- これで、展開グループの複製ができました。

## 展開グループを削除

展開グループを削除します。展開グループを削除すると、展開詳細図も同時に削除されます。

操作手順:

- **1.** [2D セレクションポインタ] ツールを選択
- 2. 削除する展開グループを選択
- 【◆展開図◆】→【展開グループ削除…】を実行 次のメッセージが表示されます。



**4.** [はい] をクリック

これで、展開グループの削除ができました。

### 展開グループを取り出す

作成した展開グループを取り出し、別の図面ファイルで使用できるようにします。展開グループデータベース ファイルを作成し、複数の展開グループを保存できます。

#### 操作手順:

- 1. [2D セレクションポインタ] ツールを選択
- 2. 取り出す展開グループを選択
- 3. 【◆展開図◆】→【展開グループ取り出し…】を実行

次のダイアログが表示されます。

展開グループ取り出し データベースファイルパス 展開グループ名 02 118区画 平面図 √12_20120607-3-1	<i>νテ</i> ィース1			同じ展開が	道沢 ブルーブ名は登録できません。
展開グループ名	間口	高さ	オフセットw	オフセットH	
新規ファイル				取り出す	キャンセル

4. [新規ファイル…]をクリック

取り出した展開グループが展開グループデータベースファイルに保存されます。ファイル名を指定して[保存]をクリックしてください。2回目以降は[選択...]をクリックし、展開グループデータベースファイルを指定することで、指定したファイルに展開グループを追加で取り出せます。

- 5. [展開グループ名] を入力
- 6. [取り出す] をクリック

これで、展開グループの取り出しができました。

### 展開グループを取り込む

別の図面ファイルで作成した展開グループを取り込みます。

#### 操作手順:

1.【◆展開図◆】→【展開グループ取り出し…】を実行

次のダイアログが表示されます。

展開グループ取り込み						
データベースファイルパス					222	+=
取り込み対象の展開グループを1つ選択し	てください。					£7
展開グループ名	間口	高さ	オフセットw	オフセットH	取り出した日時	
肖川除				取り込む	キャンセル	

2. [選択…] をクリック

取り込みたい展開グループが保存されている展開グループデータベースファイルを指定してください。

- 3. 取り込む [展開グループ] を選択
- 4. [取り込む] をクリック

これで、展開グループの取り込みができました。

### rovic4

チュートリアル

発行 2012年6月21日

発行所 株式会社ロイヤル

〒130-0023 東京都墨田区立川3丁目6-8 電話03-3634-6180(代) URL:http://www.toki.co.jp/

### 著者 株式会社治郎吉商店

〒 251-0025 神奈川県藤沢市鵠沼石上 2-5-1 カサハラビル藤沢 3 F TEL: 0466-54-6221 FAX: 0466-54-6233 URL: http://www.jirokichi.jp/